実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
厚木市	睦合地区	令和4年10月1日	令和7年3月25日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	192ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	144ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	68ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	39ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	3ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	31.56ha
(備考)	

2 対象地区の課題

新規就農者支援の取組によって認定新規就農者等の担い手が複数参入している地区であるものの、高齢化の進行に懸念を抱く農家も多く、担い手不足や農地の貸出しに消極的な所有者もいることによる遊休農地の発生が課題になっている。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

農家の高齢化が進行しているため、さらなる新規就農者の受け入れや、現在、他地区で営農中の農業者が経営を拡大する際に農地の貸出しを行う等の対応をしていく。

農地のマッチングを進め、耕作していない農地の所有者に農地を貸し出してもらえるよう、地区の状況を含め、貸付け等について農地所有者に理解を深めてもらい、遊休農地の発生防止に努める。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)	経営内容 (作目)	経営規模 (ha、頭数等)	農業を営む範囲
認農	A	露地野菜	0.56 ha	露地野菜	0.7 ha	睦合地区内
認農	B	複合経営	2.35 ha	複合経営	3.65 ha	睦合地区内
認農	C	複合経営	0.9 ha	複合経営	1.6 ha	睦合地区内
認農	D	稲作	2.05 ha	稲作+露地野菜	4.2 ha	睦合地区内
認農	E	稲作	1.05 ha	複合経営	2.7 ha	睦合地区内
認農	F	稲作	0.9 ha	稲作+露地野菜+施設野菜	1.5 ha	睦合地区内
認農	G	稲作	1.35 ha	複合経営	3.75 ha	睦合地区内
認農	H	稲作	2 ha	複合経営	6 ha	睦合地区内
認農法	I	稲作	2.9 ha	稲作	17 ha	睦合地区内
認農法	J	複合経営	1 ha	複合経営	4.7 ha	睦合地区内
認就	K	露地野菜	0.28 ha	露地野菜	0.8 ha	睦合地区内
認就	L	露地野菜	0.32 ha	露地野菜	0.32 ha	睦合地区内
認就	M	露地野菜	0.3 ha	露地野菜	0.6 ha	睦合地区内
計	13人		15.96 ha		47.52 ha	

注1:「属性」欄には、個人の認定農業者は「認農」、法人の認定農業者は「認農法」、認定新規就農者は「認就」、法人化や農地集積を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」と記載します。

注2:「今後の農地の引受けの意向」欄については、現状からおおむね5年から10年後の意向を記載します。

注3:「経営面積」欄には、プランの対象地区内における中心経営体の経営面積を記載します。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

<p>農地の貸付け等の意向 貸付け等の意向が確認された農地は、4筆、2,338㎡となっている。</p>
<p>担い手の受け入れに係る方針 当地区では、既に新規就農者が耕作を行っているものの、将来的には、高齢化の進行による遊休農地の発生が指摘されており、新規就農者をはじめとした担い手をさらに受け入れていく。</p>
<p>農地のマッチングに係る方針 当地区は耕作をしていない農地が認められるものの、貸し出しに消極的な所有者もいる。これらの所有者に対して丁寧に説明し、地区の状況や担い手について理解してもらうことにより貸し出し意向を増やし、農地のマッチングを進めていく。</p>

(参考) 農地の貸付け等の意向

	農地の所在(地番)	貸付け等の区分(㎡)		
		貸付け	作業委託	売渡
1	棚沢353-1	987		
2	棚沢554-2	569		
3	棚沢588	287		
4	棚沢599	495		
5				
6				
	計	2,338	0	0